

平成 30 年度

土浦一高通信 桜水 No.4

[定時制特集] (保護者・地域広報版)

発行 県立土浦第一高等学校

TEL 029-822-0137

FAX 029-826-3521

平成 31 年 1 月

定時制教頭 鮎川 好夫



謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。平成最後の年、最初の土浦一高通信「桜水」は本校定時制特集で幕開けとなります。さて定時制の1日は、夕方5時過ぎに始まり、4時間授業を終えた9時頃に放課となります。卒業には基本的には4年必要となりますが、**3修3卒制度**というものもあり、生徒本人の努力次第で全日制と同様に3年で卒業することも可能です。本校では毎年10名ほどがこの制度を使って卒業しています。

定時制には、**成人の生徒**もいるように、入学時の成績や年齢の幅は広く、また国籍も異なる生徒なども一つの学年に在籍しています。いわゆる**ダイバーシティ(多様性)**が定時制の魅力と言えるでしょう。生徒たちの多くは昼間アルバイトなどで社会経験を積むなど、**仕事と勉強の両立**を目指して頑張っています。さらに本校定時制では、放課後の**部活動**や夏休みの**希望課外**など生徒の向上心を育む環境づくりをこころがけています。

なお、定時制の様子は学校ホームページ掲載の「土浦一高定時制だより」(毎月発行)や「給食まぐれブログ」などからもご覧いただくことができます。地域の皆様並びに保護者の皆様には、今後とも定時制も含めた土浦一高の教育活動への、なお一層のご支援ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

定時制教育活動の一端をご紹介します

◆校外学習 ～～いざ横浜へ～～

定時制には修学旅行がない(そういえば本校全日制にもなかった!)ので、毎年



5月に校外学習を実施しています。昨年度はディズニーランドへ行き、今年度は横浜へ。事前学習として、情報の時間を利用し、行動班別に横浜探究を行ったうえで現地へ赴き、赤レンガ倉庫前を起点として、中華街をはじめ、元町、よこはまコスモワールド、そしてアニメイト横浜といった思い思いの場所で、横浜を満喫してきました。



◆定通体育大会 ～～毎年全国大会出場～～

いわゆるインターハイの定時制通信制高校版、それが、定通体育大会です。県大会は夏



季(6月)・秋季(10月)と年2回開催され、このうち夏季大会は全国大会へとつながります。今年度も日頃の練習成果を大いに発揮した結果、陸上部とソフトテニス部が8月の全国大会への切符を手にし、陸上は東京の駒沢競技場、ソフトテニス千葉の白子町で、全国の強豪と対戦しました。また、秋季県大会でも、ソフトテニス女子ダブルスは



第3位、バドミントン女子ダブルスはみごと優勝に輝きました。なお茨城県高等学校体育連盟発足70周年記念式典において本校定時制のこれまでの部活動成績が表彰されたことをご報告いたします。

◆クラスマッチ ～～先輩だって容赦なし～～

定時制は1学年が1クラスで計4クラスしかありません。ですから、定時制のクラスマッチは学年対抗

で、先輩・後輩関係なし(もちろん定時制なので、先輩だから年上とは限らない)。6月末に行われたこのクラスマッチでは、バドミントン、バスケットボール、ドッチボール、そしてインディアカ(羽根のついたボールを手で打ち合うバレーボールタイプの競技)に加えてトランプと、競技種目もまさにダイバーシティで、運動を苦手とする生徒でも参加できる全員参加型の行事となりました。



◆ 生徒生活体験発表

10月に行われた茨城県定時制通信制生徒生活体験発表大会は定時制通信制高校版「青年の主張」です。本校の塚本光晟さんは「ネガティブからポジティブへのチャレンジ」という題で、大勢の聴衆の前で堂々と7分間、自分の体験や考えを発表していました。

&

◆ 定時制通信制芸術展

12月には茨城県立図書館(水戸市)において茨城県高等学校定時制通信制芸術展が開かれました。県内の定時制と通信制の高校から 143 点が出展されました。本校からは、絵画や書、クッションなど10点が出展され、展示場の一角を占めました。



◆ 星光祭

それは生徒たちが輝く瞬間



星光祭とは土浦一高定時制独自の文化祭です。2002年に第1回が生徒たちの提案で始まり今年度は11回目。11月1日の前夜祭プログラムでは、生徒パフォーマーたちに加え、教員団もダンスを披露するなど、大いに盛り上がりました！また、翌日の教室企画では、各クラスや漫画研究部が思い思いのアトラクションでお客さんを引き付けていました。その際、全日制の生徒たちや先生方もお客として参加し盛り上げていただき、本当に感謝しております。星光祭の2日間は、定時制の生徒たちが今年度一番光り輝いた瞬間だったのではないのでしょうか。



◆ 社会人講話

世界を広げるゲストティーチャーの話！



本校定時制では、生徒自身が将来を意識しながら社会への視野を広げること、そして自らを見つめ直す機会として、地域で活躍されている社会人の方などをお招きする社会人講話を年に複数回実施しています。今年度は現在まで、

- 櫻井光孝さん: 本校定時制卒業生・茨城県ものづくりマイスター・尾張屋社長
- 明賀靖子先生: 本校副校長・県赤十字青少年指導者協議会幹事・国際協力市民の会会員
- 上山琴美さん: NPO 法人キドックス代表理事

にお話をさせていただきました。

そして、来月(2月)には、

- 山口凌河さん: 東洋大学4年生・ゴールボール日本代表選手・平成30年茨城県表彰受賞者
- をお迎えし、「僕の強みは目が見えないこと」という演題で講演していただく予定です。

土浦一高定時制では、**成人の方の入学も大募集**しています [成人特例選抜: 面接と作文のみ]